

土木・建築12事例紹介

大豊建設が技術フォーラム

大豊建設は2日、東京都中央区の東京ダイヤビルディング5号館で技術フォーラムを開いた。23回目となる今回は、全国の支店やグループの森本組などから約150人が参加。土木と建

築合わせ、12件の施工事例が紹介され、最新の技術情報や施工ノウハウを共有した。

冒頭、大隅健一社長は「優秀な独自技術を継承し、進化させるとともに、新技術の開発に目を向けていかなければならない。現場の創意と工夫が当社の技術開発の原点だ。新設した技術研究所なども活用し、現場で自分たちの仕事の中から技術開発の芽を育ててほしい」とあいさつした。写真。



技術フォーラム委員長の

今井和美取締役兼常務執行役員土木本部長は「創立時に掲げたメッセージ『誠実と努力と技術力をもって他を圧倒する』を実現するには、優秀な技術者集団でなければならぬ。その思いを再確認する場にしてほしい」と呼び掛けた。

続くフォーラムでは、「軟弱地盤層におけるピアケーンソンの初期沈下安定対策」「杭頭免震工法を用いたPC造物流倉庫の施工」などの発表のほか、JWA建築・都市設計事務所の渡辺純代表が特別講演した。